

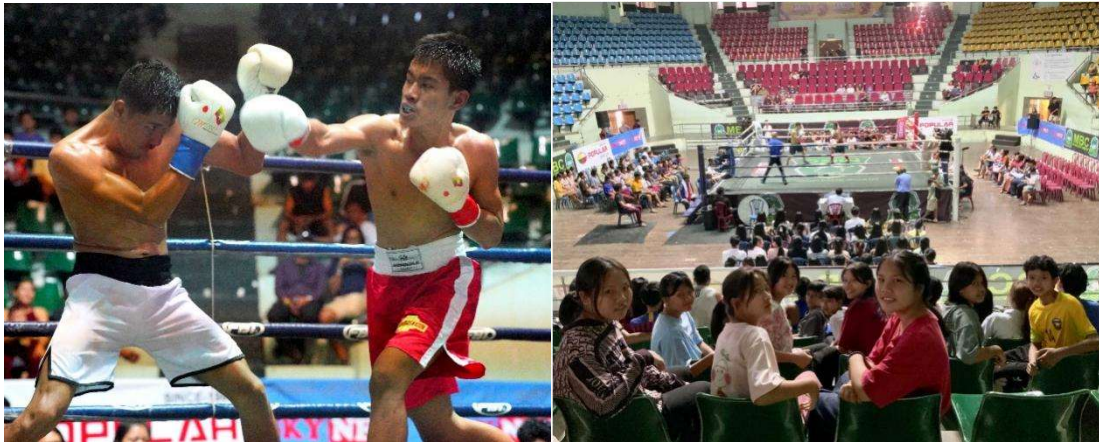


スポーツ文化を通じての国際交流並びに社会貢献 ～ミャンマープロボクシングへの協力

ミャンマーボクシングコミッション (MBC) が主催する『ミャンマー・プロボクシング』の第3回大会が2025年1月25日、ヤンゴン市内のテインピュー・スタジアムで開催されました。JBCはMBCの設立支援および審判員をはじめとする運営スタッフの指導を行ってきましたが本大会もまた、スポーツ文化を通じてアジア全体の連携、交流を見据えた取り組みとなりました。

今回は、新人選手を中心とした11試合を行い、過去2大会には見られなかったKO・TKO決着が複数あるなど、プロボクシングの技術向上の兆しが見受けられる大会となりました。また、6回戦に出場した選手の中には、昨年のミャンマー選手権を制した実力者、ギンサイ・マウン(19)も含まれており、同選手は2月24日に大阪・阿倍野区民センターで開催される『BENKEI FIGHT vol.4』にて、チェ・ヨンドゥ(30=KWORLD3)との対戦が決定しています。さらに、同大会では、ソウリン・アウン(19)が政所椋

(24=KWORLD3) とのメインイベントに出場するほか、ナウ・ポン (21) も森本竜馬 (22=KWORLD3) と対戦予定です。ミャンマー選手の日本でのプロボクシング参加はこれが両国の長い交流の歴史上初めてのこととなります。スポーツが2国間の懸け橋となり、政治的な思惑を排し、真に国際交流の礎となることを心より祈っています。



今大会においても JBC は、かねてより交流を続けている養育施設『Dream Train』(特定非営利活動法人ジャパンハート運営=上の写真右) の子供たちを招待し、ボクシングの試合を生観戦する機会を提供しました。また、今大会でレフェリングの軸を担った田中浩二 (JBC=下の写真左) は、試合翌日に現地の日本語学校『Shwe Myoh』を訪問し、特別講師として講義を実施。自身のボクシング体験を交えながら、「好きなことを続ける大切さ」について語り、生徒たちに「たとえ遠回りになっても、日本を愛する気持ちを人生に活かしてほしい」と激励しました。

なお、第4回大会は、2025年3月15日にヤンゴン市内にて開催予定です。今後も JBC は、ミャンマーの関係者と密接に連携し、スポーツを通じて同国およびアジア全体の国際親善に貢献してまいります。

